



平成 28 年 8 月 9 日

各 位

株 式 会 社 ニ チ リ ン  
代表取締役 社長執行役員 前田龍一  
コード番号 5184 東証第2部  
問合せ先 取締役常務執行役員 森川良一  
TEL (079) 252-4151

## 通期連結業績予想の修正および通期個別業績予想に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 28 年 2 月 16 日に発表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたしますのでお知らせいたします。また、個別業績については予想を公表いたします。

### 記

#### 1. 通期連結業績予想の修正

##### 1) 平成 28 年 12 月期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回予想 (A)	百万円 51,000	百万円 5,600	百万円 5,600	百万円 3,200	円 銭 289.87
今回修正 (B)	48,500	6,100	5,600	3,200	289.88
増減額 (B) - (A)	△2,500	500	0	0	—
増 減 率 (%)	△4.9	8.9	0	0	—
(ご参考) 前期通期実績 (平成 27 年 12 月期)	50,851	5,764	5,849	3,322	301.00

##### 2) 業績予想修正の理由

当社グループの主要事業分野である自動車業界は、国内販売は軽自動車税の税率引き上げの影響等が続いておりますが、当社顧客からの受注が堅調に推移したことに加え、好調な北米市場や中国市場の回復、アセアン市場も概ね堅調であったことから当社グループの受注は順調に推移しており、下期においても受注状況に大きな変化はないものと予想しております。しかしながら第 2 四半期以降急激に円高が進行し、下期においても円高基調が継続するものと予想されますので、第 3 四半期以降の為替レートを 1 US\$=115 円から 1 US\$=102 円に見直したことにより、通期の売上高は予想を下回る見込みであります。一方、営業利益につきましては、継続的な生産性改善や原価低減活動の推進、グループでの最適生産体制の取り組みにより、海外の全セグメントとも好調に推移するものと見込み、予想を上方修正しております。

## 2. 個別業績予想

### 1) 平成 28 年 12 月期 (平成 28 年 1 月 1 日～平成 28 年 12 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前期 (平成 27 年 12 月期) 実績 (A)	百万円 28,709	百万円 1,619	百万円 2,643	百万円 2,057	円 銭 186.34
当期 (平成 28 年 12 月期) 予想 (B)	27,800	1,200	1,600	1,200	108.70
増減額 (B) - (A)	△909	△419	△1,043	△857	—
増 減 率 (%)	△3.2	△25.9	△39.5	△41.7	—

### 2) 個別業績予想公表の理由

当社の受注動向は、概ね計画通りであります。急激に円高が進行したことにより、第2四半期累計期間において為替差損が発生し、今後も円高基調が続くと思われるため、第3四半期以降の為替レートを1US\$=115円から1US\$=102円に見直した結果、前期の業績を下回る見込みであります。

上記の内容は、本資料発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上